長谷工コーポレーション
ホームページへ

２００９年6月１８日

『借家層の持家志向』　－持家志向は依然堅調―
２０代後半・３０代の６割以上が「持家を購入したい」
～長谷工アーベストＷｅｂアンケートより～

株式会社長谷工アーベスト（本社：東京都港区、社長：岡　正德）では、首都圏（東京、神奈川、千葉、埼玉）に居住している２０代後半～５０代の方を対象にＷｅｂアンケートを実施し、借家層※の持家志向について分析を行いました。

その結果、全体の約半数（５２％）が「持家を購入したい」と回答。持家希望は、昨年３月の調査時とほぼ変わらない結果となり、経済環境が大きく変化する中、消費への影響が懸念されながらも、借家層の持家志向は底堅く堅調なことが分かりました。特に、２０代後半と３０代では約６割が「持家を購入したい」と回答しており、持家志向はより高くなっています。

持家志向の高い２０代後半と３０代が持家を希望する理由としては、「家賃がもったいない、家賃よりローンが得」や「広い住まいに住みたい」などの“経済性や現住居の不満の解消”に関する項目の他、「子供や家族の為」、「人生設計がしやすい」「資産形成をしたい」といった将来を見据えた“ライフプラン”に関する項目が他の年代に比べて高い回答率となっています。

老後や収入など先行き不安のある今だからこそ、「持家」を将来の備えとして考え、早い時期に購入した方が得と考える「堅実」な様子が窺え、そうした若年層の底堅い持家志向を顕在化させる為の商品やサービスの開発が今後より重要になると考えます。

（※）借家の居住形態：戸建借家、賃貸マンション、公団賃貸マンション、社宅官舎、アパート、親族同居、その他

【持家の希望について】（資料①）

全体の約半数（５２％）が「持家を購入したい」と回答しています。また、「賃貸が良い」との回答は約１割（１３％）にとどまり、昨年３月の調査時と「持家を購入したい」、「賃貸が良い」ともに同水準となりました。

年代別では、２０代後半（６３％）と３０代（６０％）で約６割以上が「持家を購入したい」と回答しており、他の年代よりも持家志向は高くなっています。

【持家を希望する理由について】（資料②）

「老後も賃料を払っていくのは大変」、「老後は賃貸が借りづらくなりそう」、「社会保障・年金不安がある」といった“将来への不安”に関する回答は、年代による差はあまりみられませんでした。

一方、「家賃がもったいない、家賃よりローンが得」や「自由に使えて気兼ねがない」、「広い住まいに住みたい」といった“経済性や現住居の不満の解消”に関する回答と、「子供や家族の為」、「人生設計がしやすい」「資産形成をしたい」といった“ライフプラン”に関する回答は、２０代後半・３０代で他の年代に比べて高い傾向がみられました。

「広さ」については、２０代後半・３０代の方は、現在５０㎡台以下に居住している方が約６割と他の年齢層に比べ多く、子供の誕生や成長により現住居が現実的に手狭になってくる為と考えられます。

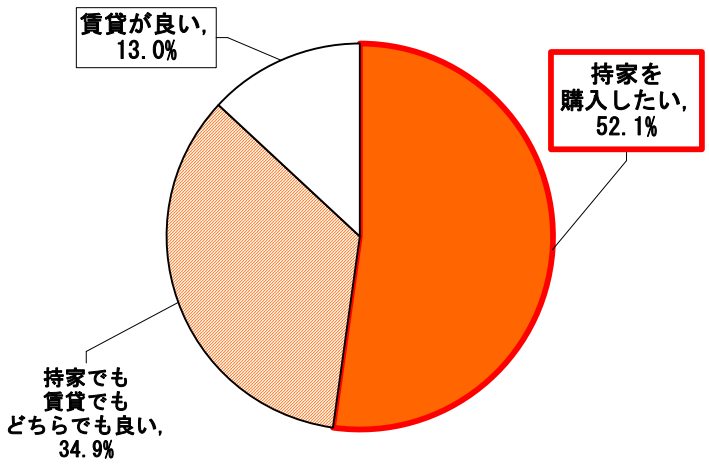
【長谷工アーベストＷｅｂアンケート（モニター）】

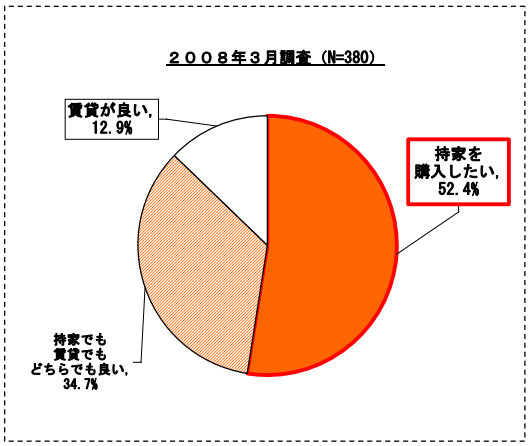
【調査概要】

調査対象	首都圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県居住者）モニターの内、借家に居住している 20 代後半～50 代
調査手法	Ｗｅｂアンケート
調査実施日	2009 年 4 月 3 日～4 月 6 日
分析対象	800 件

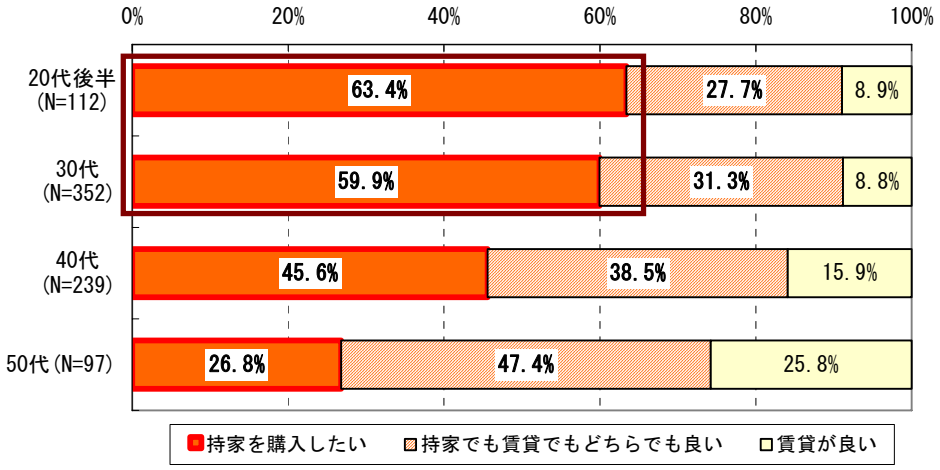
■将来的に持家を購入したいと思いますか？　（資料①）

２００９年４月調査（N=800）

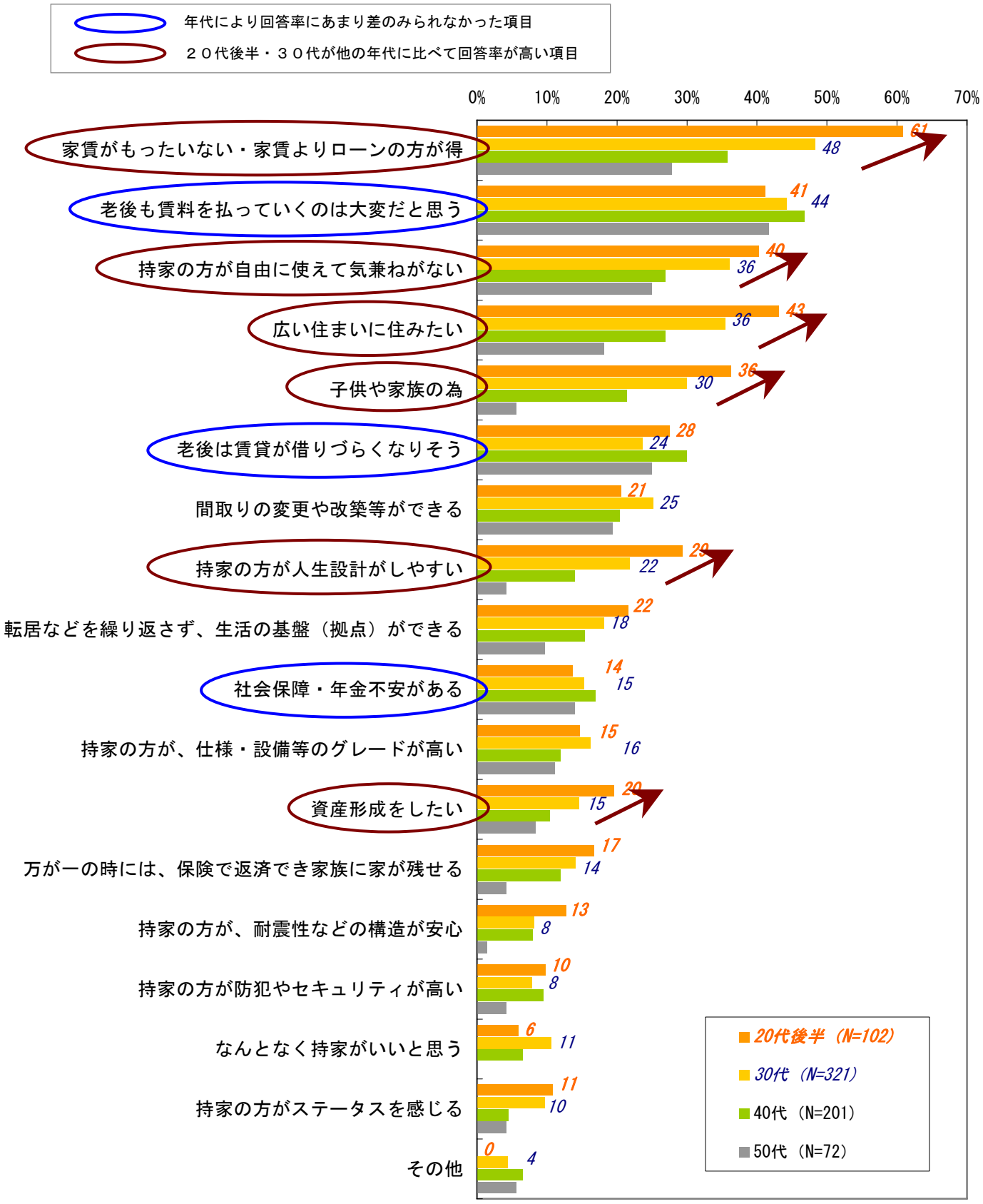




２００９年４月調査（年代別）



20 代後半・30 代では、約 6 割が持家を希望

■持家を購入したいと思う理由は何ですか？（N=696、複数回答）　（資料②）

※対象者:「持家を購入したい」「持家でも賃貸でもどちらでも良い」と回答した方